



田深天満社 お練り

5月臨時会

6月定例会

6月補正予算、主な議案、議案質疑

..... 2~4

11人が登壇

一般質問 (ケーブルテレビ生中継) 5~15

特別委員会、常任委員会レポート 16~17

議会からのお知らせ 19

平成23年第2回定例会

会期は6月10日(金)～24日(金)までの15日間。
議案は9件を可決しました。

国東市暴力団排除条例を制定

国東市からの暴力団排除を推進し、市民の安全で平穏な生活を確保することを目的とした「国東市暴力団排除条例」が提案され全会一致で可決されました。

6月補正予算

○補正額 9億8,316万円
補正後予算総額 186億7,716万円

《主な事業》

- ・おおいた安心住まい改修支援事業
- ・市道改良事業
- ・安岐コミュニティ広場遊具等新設事業
- ・大分元気っ子体力パワーアップ事業
- ・統合文化センター施設(アストくにさき)改修事業
- ・発達障がい児相談支援事業
- ・精神障がい者交通費助成事業
- ・消防救助工作車購入事業 など

請願1件を採択、2件を継続審査へ

【採 択】

- ・義務教育費国庫負担制度堅持を求める請願

【継続審査】

- ・環太平洋パートナーシップ(TPP)に関する反対を求める請願 2件

川野幸男氏の副市長選任に同意

不在となっております副市長の人事案件が5月13日に開催された第2回臨時議会に提出され、選任同意すべきものと決定しました。

【略 歴】

生年月日：昭和33年4月12日(53歳)
最終学歴：九州大学経済学部 昭和56年3月卒業
職 歴：昭和56年4月 大分県庁入庁
佐伯市南郡地方振興局地方振興課長
人事委員会事務局公務員課任用給与班参事
総務部行政企画課参事



主な議案等の内容

平成23年第2回定例会

国東市体育施設条例の一部改正について

社会体育施設としての利用実態が多い安岐町朝来農村広場を新たに社会体育施設に加え、また、照明施設の利用期間を市内で統一するために条例の一部改正を行うものです。

国東市附属機関設置条例の一部改正について

企業との連携や情報交換を図る「国東市企業誘致連絡協議会」を設置し、企業誘致を推進するために条例の一部改正を行うものです。



財産の無償譲渡について

国東町内の共有不動産に関する協定書に基づき、市有地になっている旧共有地を、地縁団体の認可を受けた富来区に譲渡するものです。

人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の推薦について、次の方が適任とされました。
(任期・平成23年10月1日～平成26年9月30日)

武蔵町 石川美恵子 氏



消防救助工作車購入について

救助活動に必要な資機材を積載し、現場へ運搬することを目的とした消防救助工作車購入費として1億1750万円が補正予算として計上され可決されました。



導入される消防救助工作車

平成23年第2回臨時議会

監査委員の推薦について

監査委員に次の方が選任されました。
(任期・平成23年5月16日～平成27年5月15日)

国東町 野木 辰美 氏

教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に次の方が任命されました。
(任期・平成23年5月19日～平成27年5月18日)

国東町 後藤千衣美 氏



議案質疑

平成23年第2回定例会

★有限会社いこいの村 国東の経営状況報告について

Q いこいの村 国東、梅園の里、サイクリングターミナルの市の収支について伺いたい。

A サイクリングターミナルと梅園の里については施設管理料として市から支払われていますが、いこいの村 国東については、逆に納付金という形で市へ入ってきています。



いこいの村 国東

Q 市に入ってくる分より支払う金額が多い状況から、市長の観光施策とあわせて、「いこいの村 国東」の完全

民営化の検討をしようか。そうすれば、固定資産税等が逆に入ってくると思われるが。

A 指定管理制度の場合、入札によって市の財産を管理する企業を決定し指名しています。補修工事等も、契約上、壊れた場合は市の財産だから市で補修することになっています。いずれは、民間への売却も考えられると思いますが、昨年の国からの耐震工事補助金も用いていることから今すぐには考えておりません。

★国東市企業立地促進条例等の一部改正について

Q 企業の立地があつて苦情等があれば、どこが処理をするようになるのか。

A 苦情の対応については、産業振興課で処理を行っていきたいと考えています。

Q 今後数年間にどれくらい企業の見込めると予想しているのか。

A 現時点では予想できていないが、多くの企業に来ていただきたいと思っております。



新設された産業振興課

平成23年第2回臨時議会

★平成22年度一般会計予算の専決処分について

Q 緊急雇用対策での2級ホームヘルパー養成委託事業が今回の専決処分で減額しているがその理由は。

A 対象者が予定した人数に至らなかったためです。

Q 在宅介護事業所に3ヶ月以上緊急に雇用してヘルパー養成のチャンスを与える意味で事業を実施したが、多くの介護職の求人募集に就職条件に2級ヘルパー免許資格という義務付けもあるので、もっと多くの介護職現場で緊急雇用され資格取得ができるように緊急雇用対策の展開をお願いする。

A 平成23年度が最後の緊急雇用事業の取り組みとなるので、関係部署等と協議する中で考えていきたいと思っております。



丸小野宣康 議員

災害に強い

国東市づくりは

―防災ハザードマップの改定を

できるだけ早く行います―

議員 市民に配布した避難場所の標高はどのように算出したのか。

総務課長 標高はインターネットからグーグルアースのデータを使って算出しました。現在、国土地理院の地図と比較して誤差が少なく信用できるものということ

で採用しました。

議員 東京電力福島第一原発は、未だ終息の見通しが立っていない。国東市の対岸にある伊方原発の再稼働、上関原発の建設中止等について近郊の自治体等から意見書を提出する必要があるのでは。

市長 全国市長会で国に対しての責任と財政負担により

万全の措置を講ずるよう要請しています。原発に關しましては、隣接市村と連携して対応したいと考えております。

●有害鳥獣被害対策について

議員 有害鳥獣被害対策推進のための駆除員の養成に助成はできないか。また、食肉は有効に利用されているのか。

産業商工部長 昨年度から新規狩猟免許取得者の助成として講習会、免許取得試験費用の1/2を助成することにしています。また、食



道の駅くにみ等で販売しています。

肉の有効利用につきましては、猟友会国見支部の食肉加工施設で処理し肉のそばろを作って啓発に努めたいと聞いております。

●市道の路面舗装について

議員 市道の路面舗装は毎年計画的に引き続いて改修する計画があるのか。

土木建設部長 今回の補正予算で4町合わせて24路線、20kmの距離を計画しています。緊急性の高いところから計画的に整備していきたいと考えております。



宮永 英次 議員

地域の活力再生に向けて

どう取り組むのか

―新しく産業振興課を

設置し指導します―

生に市としてどのような戦略を考えているか。

市長 5月に新設した産業振興課の中に産業創出班と企業誘致班を置きました。企業・工場を誘致、付加価値の高いもの、あるいは国東しかないものを生み出すこと、あるいは既存特産物の生産拡大の取り組み、販路の確保することが任務であります。国東市のおいしいミカンや梨、ブドウなどを高く売る販路を見つけていることが我々の使命であると思っています。

●第一次産業衰退の認識について

議員 農業の担い手不足が進み、地域の消滅という危機感が現実味を帯びている現状をどう認識するのか。

市長 戦後、日本政府は加工業の国にするために工業化を進め、昭和29年から48年までの19年間に経済の高度成長を成し遂げて、産業の中心が工業へ変わり、農村部から多くの若者が工場労働者として都市部へ移りました。国東も昭和35年の人口が58,786人から、平成22年には32,007人まで半減しました。この

ように、日本全体が工業化によって若い農村人口が都市部に急激に移動することで地方の衰退につながったと思っています。

●打開への提言

議員 今ある農業組合法人・

営農組合・農業公社が事業を拡大し、新規就農者・定年退職者を雇用する。統合校舎を活用し、しいたけ栽培等や木炭竹炭の生産販売等ができないか。

産業商工部長 農業従事者の

高齢化、後継者不足、耕作放棄地等、多くの課題を抱えている中、平成21年、22年で農業公社や農家で研修

●具体的戦略は

また、農業生産法人についても、戸別所得補償制度や水田等有効活用促進事業補助等の収入を合わせて、黒字の経営を保っていくという状況であります。工芸作物や小ネギ・花卉等園芸作物との複合栽培に取り組みむ必要があるのかなと考えているところです。

議員 急激に過疎高齢化が進行する中で、地域の活力再

水産の分野においても、タコやタチウオ以外の食材を発掘して特産品として育て、ひじきの生産拡大にも取り組めます。二次産業と三次産業が同時に必要であります。三次産業の振興には、特に観光に重点を置き、観光客誘致に力を入れ、多くの方に国東に来ていただきたいと思っています。



清國 仁士 議員

● 統合小学校の教育振興

議員 教育環境の整備と学力向上の方策は。

教育長 合併により集団が大きくなったメリットや地域との強い結びつきの良さを活かした統合小学校づくりを推奨します。学力の向上の重点課題は、教師の授業力の向上、学習習慣づくり、協育ネットワークの確立で、地域ぐるみで国東の子どもたちを育んでいく協力体制を確立していきたいと考えています。

議員 閉校する学校特有の諸活動の継承方法はどうか考えているのか。

教育長 小学校統合準備委員

学力向上の方策は

―協育ネットワークを構築します―

会を設置し、統合後の校区、指導者、学校教育の位置づけ、指導時間など考慮しながら決定します。

議員 統合による教師配分はどうなるのか。

教育長 学習指導や精神的なケアにも配慮や対応が必要と考え、県の児童支援加配教員の申請や市独自の支援教員などを配置します。



放課後学びの教室の様子

議員 学校式典の教師の国歌斉唱の指導方針はどうかしているのか。

教育長 学習指導要領に儀式的な行事での国歌の斉唱が定められ、「君が代」は音楽教材であり、指導する立場の教師は児童・生徒とともに斉唱すべきであると指導しています。

● 文化財活用による町おこし

議員 六郷満山文化を全国にアピールし、文化・歴史・観光面に活かす方法はないか。

市長 文化財ガイドブックを作成し、文化財を紹介し、観光企画会社の支援を受け、情報発信や観光交流の活性化に努めたいと考えております。

企画部長 地域の文化遺産、伝統行事等ケーブルテレビ

で積極的に取り上げていきます。

議員 文化財の石造物が多いが、案内板の説明書き、トイレの設置は十分か。

教育次長 186の石造物に説明板を設置しているが、引き続き新設、改修をします。トイレは両子寺の駐車場に設置します。

● 炭焼き、ヤーコンなどの特産品

議員 国東の炭は火付きがよいという特徴を売り出し、職員に買ってもらい、地産地消で特産品の産業を育てたらどうか。

市長 職員に強制することはできないが、特産品は買ってもらえるものを作ることが大切で、販売業者の意見を生産者に伝え、売れるものを作る努力が必要だと思えます。ヤーコンのお茶は健康にいいと聞きますので紹介していきたいと思えます。



伊牟田洋史 議員

● 中学校における進路指導について

議員 近年、中学生が市外の高校に進学する傾向が高くなっているが、どのように認識されているか。その数字は37%に達している。

教育長 市外進学率を聞き、正直驚いております。

議員 各中学校の進路希望の状況からして、大分県教育委員会が平成17、18年に市外8校を進学指導重点校に指定した結果ではないか。

教育長 県教育委員が教育の機会均等を念頭に高校再編の計画を発表して5年が経過し、中学生の進路希望の多様化、保護者の学校選択

市外の高校に

1111人が進学

—中・高連絡協議会を設置したい—

に対する考え方も変わってきています。そして、平成20年より普通科の通学区域制度の廃止も微妙に関係していると考えています。

議員 国東高校の昨年の進学実績を見ると国立36名、私立90名、短大29名他、また、県内の優良企業をはじめ79名が就職し、特に市内の企業に51名も就職している。また、ロボット競技大会での実績や6月に同校JRC

が食育活動の内閣府大臣表彰を受賞したことを踏まえ、国東高校を優先する踏み込んだ進学指導はできないか。

教育長 進路指導は3年生に限って行っているわけでは

ありません。各学年に応じた指導を行い、特に3年生は1学期末に保護者を交えて高校説明会などをし、夏休みには体験学習も実施

(国東高校8月24日、双国高校8月25日)、2学期には三者面談などを行います。進路選択に関しては保護者の理解も重要であり、本人の能力・適正について十分話し合って決定しているところではあります。

議員 教育委員会、または市校に加えてもらうよう働きかけはできないか。

教育長 県教育委員会が、平成17年に高校改革推進計画

学校別	卒業生	市内の高校	市外の高校
国見中学校	25名	16名	9名
国東中学校	123	100	23
武蔵中学校	56	32	24
安岐中学校	93	38	55
合計	297	186	111

中学生の進路希望調査 (H22年度)

の中で教育環境整備計画として適正な学校規模を定め、県内6地域に分け普通科単位校を配置するとあり、このようなことから勘案して国東高校の場合は難しいのではないかと考えます。ただ、適正規模高校であると認識しています。今後、教育委員会として応援や支援ができないか学校側と情報・意見交換の場を設定したいと考えています。



大谷 和義 議員

総合支所のあり方は

― 今後、行革推進班の中で検討 ―

質の向上に努めます。

総務部長 組織改革は職員が

減少している中、整備された市役所の組織のあり方を十分検討しなければならぬ時期にきていると思います。また、組織変更に対しては職員及び地域住民の声を考慮することは大原則であり、本年度、行革推進班を設置いたしましたのでこの中で十分検討していきたいと思います。

産業商工部長 企業誘致班及び産業創出班の業務内容と今後の方向性ですが、まず、誘致班は県や地場企業と連携をとり企業の進出、地場企業の工場拡大を図り雇用拡大、ひいては市経済の振

興を図っていきたいと思います。産業創出班につきましては、特産品の開発や販路の拡大を行う中で所得の拡大を図ると共に後継者の育成と定住促進を行っていきます。

●市の活性化策について

議員 市長の考える地域活性化

策とは、また16地区公民館に対する中央公民館の役割や運営方針はどうか。更に、地区公民館を支える職員体制をどのように考えているのか。

市長 活性化の原点は働く場所がなければ住めません。従って働く場所の確保と同時に産業をどうやって興すかにあります。

教育長 平成21年度地区公民館の再編がなされ、中央公民館生涯学習課の役割は16地区公民館が地域のコミュニティの中核として、或いは地域の文化センター的な機能を発揮できるような機能強化を図っていきます。また運営方針として第一に地区公民館推進委員会の充実であり、それぞれの館の情報交換であります。職員体制につきましては、行革推進班で組織と定員管理について見直しを行っていきます。

●組織改革について

議員 政策力を高めようとする職員に対しての政策、及び今回の総合支所の組織改革について地域住民の声を反映しているのか。また、新たに創設された企業誘致班と産業創出班の業務内容と今後の方向性は。

市長 地方分権の推進により、自治体が生き残るためには自治体が自主的に自分の地域にあった政策を進めなければなりません。そのためには、職員自ら政策立案能力を高める必要があります。あらゆる機会を通じて職員に研修、勉強の場を提案し資



国見総合支所



馬場 将郎 議員

行財政改革の

効果額の使途は

—基金を増やすためだけでなく
財政規律を守り大事に使います—

●市政運営について

議員 行財政改革の成果、効果の評価、行財政改革で生じた効果額の使途、今後の重点施策、職員の意識改革、勤務評価システムの導入、東部振興局との連携の有り方についてお尋ねしたい。

市長 行財政改革の効果額の活かし方は、基金を増やすためだけではなく、財政規律を守りながら大事に使うことです。今回の予算は、選択と集中で経費の節減を徹底する一方、主要施策に重点的に配分しました。今後の重点課題については、高齢者や子どもが安心

市長 職員の客観評価は、言

して暮らせる福祉の増進、産業振興では、有害鳥獣対策、農道、林道の舗装、商工観光対策費、企業の誘致、付加価値の高い一次産業の開発・販路の拡大です。また、安心・安全な生活対策としては、防災ハザードマップの更新、市道の改善等です。

企画部長 新たな行政改革プ

ランを現在策定中です。部長制度廃止を前提に組織機構や、職員定数の見直しをします。職員提案制度、業務改善の取り組みも検討します。

●子育て支援について

葉では簡単ですが、やることは非常に難しい。ただ、人の評価は、職員の意欲の醸成のためには大事だと思いますので、評価システムについては、研究していきたいと思っています。

東部振興局との関係は、国や県の補助制度を知る上でも大切です。今後、勉強会や相談会を持ちかけていきたいと思っています。

議員 教育・福祉の縦割り行

政の枠を取り外し、幼児教育・児童福祉を一体とした施策、「これからの子ども
のあり方検討会」の現状、

小学校と幼保の連携についてお尋ねしたい。

市長 教育・福祉の枠を取り外した、幼児・児童の一体化策については、今のところ考えていません。行革班で組織を検討していますので、その中で検討したいと思います。

教育長 あり方検討会を立ち

上げる準備中で、現在、委員の選定を行っています。小学校と幼稚園、保育所の連携については、本年度取り組みを進めています。具体的には、安岐中央小学校と安岐中央幼稚園で子どもとの交流を図ると共に、先生方の交流も図ります。



安岐中央小学校と中央幼稚園

一般質問

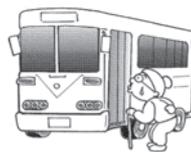


明石 和久 議員

コミュニティバスの満足度は

— 今後もきめ細やかな施策を

実施します —



●コミュニティバスを中心とした交通体系の見直しについて

議員 現状のコミュニティバスの満足度はどのように認識しているか。

企画部長 昨年9月の利用者アンケートでは利用者の9割が70歳以上の女性で、主に買い物や通院に利用しております。運行回数については、85%の方が一週間に一往復で満足しており15%の方が運行回数の増加を望んでおりました。今後も利用者の声を聞き、きめ細やかな施策を実施していきます。

議員 路線バスがある地域とない地域との公平性は保た

れているのか。

企画部長 それぞれに運行形態や運賃が同じでなく、路線バスやコミュニティバスが通らない空白地域も存在しております。今後も関係機関と協議しながらどのような施策がいいのか、総合的に検討していきたいと思っております。

議員 今後はバス会社、タクシー会社を含めて総合的に検討し、国東市にしかない交通体系の確立を目指してはどうか。

企画部長 年度内に国東市の公共交通体系の見直し案を議会に提案するべく現在、検討を重ねているところであります。

●周辺原発の事故対策について

議員 愛媛県の伊方原発での福島第一原発のような事故を想定した場合の対応は。

市長 国東市としては、福島第一原発のような事故を想定した避難訓練、その他の対策は行っていないのが現状です。

伊方原発は国東市から50kmのところであり、市としても伊方原発の動きを注視しながら隣市や村と連携して対応していきたいと考えております。

議員 海に面しており漁業関係の影響があると思うが、

潮流や気流の動向を把握できているか。

産業商工部長 海図からの情報ですが、国東市への直接の流れ込みはあまりないのではないかと判断しております。

伊方の前面の海からの直接の国東方面、国東半島の方向の海流や潮流というのは認められないという情報です。気流については、国東半島の東方向に伊方原発が位置しており、東からの風が吹く場合には影響があるのではないかと思われる程度の情報しか現在持ち合わせていません。

議員 山口県の上関原発も計画で30kmの距離にあり、どのような認識をしているか。

産業商工部長 非常に近い位置に立地をするので、強い関心を持って注視をしたいと思います。



木田 憲治 議員

●農林業振興施策について

議員 市長の基本方針の中に「農業振興の中で付加価値の高いもの、珍しく美味しいもの等の特産品づくり」を強調されているが特に思われていることは。

産業商工部長

当市の基幹産業は一次産業であり、農業従事者の高齢化や担い手不足による耕作地放棄を防止、あるいは解消のために集落の営農組織を中心とした法人化による規模拡大や企業参入。そして認定農業者を中心に担い手の確保により引き続き水田、干しシイタケ、カボス、小ねぎ、菊等を中心に振興を図ります。

これからの農業の

将来を問う

―付加価値や差別化商品の

育成と販路拡大を行いたい―

また、産業創出班で特産品の販路拡大及びグリーンツリーゾムの振興、七島イの生産拡大や国東産オリーブの製品開発、漁貝類の加工等に高い付加価値を付けた差別化商品の開発や販路拡大を行い所得向上を図ります。

●農業公社の将来について

議員 現在、国東町と武蔵町に農業公社がないが将来は合併する方向なのかとの質問に、前回は合併の計画は無く、安岐の公社が武蔵を、国見の公社が国東をとの答弁であったがその後の考えは。

産業商工部長

今後、ひとつの公社という体制に向けた準備を進めたいと考えています。

●竹林整備について

議員 間引いた竹を粉砕して田や畑に敷くと肥料効果になるといいますが今後進める気はないか。

産業商工部長

市内にはたくさん荒廃した竹林があり伐採整理が必要となっております。竹の粉砕機の購入も含めてこれから検討していきたいと考えています。

●耕作放棄地の対策について

議員 農業従事者の高齢化と労力不足のため年々放棄地

が増えていく。市の対応として「耕作放棄地再生協議会」が結成されたと聞くが、その内容等は。

産業商工部長

遊休地の荒廃地については現在市の企画課で「菜の花いっぱい運動」で種を無料配布し環境美化をはかります。遊休農地では昨年度から始めた「農業者戸別補償制度」により、景観作物として「菜の花」「ひまわり」を植えますと反当3千円、商品として出荷をすれば「菜の花」で2万円、「ひまわり」で1万円が交付されます。これらの制度を活用するよう推進しております。



遊休農地で咲くひまわり



吉田眞津子 議員

男女共同参画社会の実現は

―女性の社会進出、委員会委員等への

登用に取り組みます―

任の方がいれば推薦されるものと認識しています。

議員 女性起業家の育成や国東地区女性農業経営者会、東郡農漁村起業グループ連絡協議会等、頑張るグループに強い支援は。

市長 付加価値を付けた産物、安心・安全な食べ物でおいしい物の生産をお願いし、販路の開拓等に協力します。

議員 小規模農家の育成や移住者を対象に野菜等の栽培、収穫、販売等に農家の女性が実地指導を請け負ったり、講師になったりする事業はできないか。

産業商工部長 研究してみたいと思います。



議員 セクハラについて、市は相談員を設置しているが、企業への波及は考えているか。

生活福祉部長 6月を男女雇用機会均等月間として企業訪問で啓発しています。

●男女共同参画の現状と取り組みについて

議員 国東市における男女共同参画の現状と取り組みは。

市長 各種委員会、協議会等への参画は市民の皆さんの意識改革の啓発を行い、女性委員等の増加を目指していきます。

議員 共同参画のためのキャリアアップ研修など人材育成の講座開催はできないか。

議員 農業委員会への女性の登用はできないか。

議員 農業委員会への女性の登用はできないか。

産業商工部長 団体からの推薦と選挙です。女性も社会進出している時ですから適

●DV、セクシャルハラスメントの把握と対処等について

議員 男女共同参画社会の計画策定からあったと思われる国東市におけるドメスティックバイオレンス、セクシャルハラスメント等の現状と、その把握の方法、対処の仕方、各種団体との連携の実態、今後の方向は。

生活福祉部長 近隣の民生委員等からの通報により、昨年度7件の受付がありました。対処としては、相談者の状況により警察、病院、学校など関係者と協議して支援しています。

議員 共同参画のためのキャリアアップ研修など人材育成の講座開催はできないか。



堀田 一則 議員

●東北大震災以後の国東市の防災対策について

議員 東日本大震災で何を学び、どう活かすのか。この度の災害における基本的な原因は「想定にとらわれ過ぎた。」ことにある。その状況下においてのおのおのが率先して最善をつくすことが大切である。避難場所の件では行政に頼らず区長さんや民生委員さん、そして隣保班長さんが常日頃から横のつながりを持ち、それぞれの地域での「生きたハザードマップ」を住民参加のもとで住民自らが作るべきだと思う。この震災を国東市の将来にどう生かし対



被災地の状況

応していくか。

市長 今回の震災では、ラインの崩壊がかなりの部分でもたらされています。市役所をはじめ、施設や避難施設等の耐震化の整備や

高齢者や障がい者の負担減のため消費税（福祉税）の早期法制化を

—目的がはっきりすればやむを得ない—

日頃からの防災訓練の繰り返ししかならないと思います。

議員 常日頃の災害教育が大切だと思うが、どんな教育をしているのか。

教育長 各学校に津波を想定した防災計画の見直しを指示し、二学期からはじめます。

●介護問題における国東市の現実と対応について

議員 老老介護、認知介護、障がい者介護の現実と対応は。増え続ける高齢者による介護殺人、自殺、介護者の早期退職や壮年離婚等、介護問題は年々複雑かつ多様化している。国保、介護保険も上がり続ける中、こ

れ以上の負担を無くすためには福祉を目的とした消費税の増額しかない。

ぜひ、全国の市町村会等で呼びかけ早期法制化を。

市長 消費税を上げるのに今のタイミングが良いかどうか難しい問題がありますが、国の財政の問題や生活保護、高齢者介護などを考えると、その目的をはっきりさせて上げるのであれば私はやむを得ないと思っています。



様々な福祉ニーズを受ける窓口の様子

一般質問



一丸 政春 議員

防災対策は万全か

―9月4日全県下防災訓練をします―

●地震防災対策について

議員 市内の学校や公共施設、事務所等の地震対策と急傾斜対策は十分か。

教育次長 中学校については屋内運動場校舎とも100%耐震工事が終了しております。小学校については、今年度伊美小、来年度に小原小と旭日小の工事を行います。平成25年4月には、全ての小中学校が終了いたします。

土木建設部長 急傾斜地整備対策については、年1箇所ということで県が4割、市が5割、受益者負担が1割となっております。

●津波対策について

議員 ハザードマップの見直し、津波の高さ2.5mから10mに見直すとのことだが、周知の方法・時期は。

市長 津波対策として避難場所を作るために、県や国の予測を待っていたのでは間に合わないのです、緊急的に10m以上に決めてくださいと指示を出しました。国や県の計画が出れば正式に決めます。

●原子力発電所対策について

議員 四国電力の伊方原発で事故が発生の時の対策について、また放射性物質の測定は。

市長 伊方原発の事故に対す

る避難訓練はやっていません。伊方の地区ではしていることなので参考にしたいと思っています。放射能測定は、消防署で6月16日から始めました。市のホームページに数値を載せるようにしました。

議員 ハザードマップの周知避難訓練の徹底は。

総務課長 大分県の防災訓練が今年の9月4日に別府市であります。国東市も全地域で行う計画です。防災無線で地震発生を流します。自主防災組織・消防団等によって指定された場所に避難する。逃げ遅れはないか、誘導はできたかチェックし、



毎日、午前9時前後に計測しています。



放射能測定器

今後の対策の資料といたします。

委員会レポート (6月定例会まで)

◆総務委員会◆

委員長 堤 康二郎

本定例会にて当委員会に付託された議案第44号「国東市暴力団排除条例の制定について」、議案第45号「国東市過疎地域自立促進基金条例の制定について」、議案第46号「国東市過疎地域自立促進計画の変更について」、議案第49号「国東市企業立地促進条例等の一部改正についての関係部分」及び議案第50号「財産の無償譲渡について」の5件につきましては、去る6月20日に委員会を開催し、総務部長、企画部長及び関係課長の出席説明を求め慎重に審査しました。

各議案とも、採決にあたり討論はなく、全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆文教厚生委員会◆

委員長 野田 忠治

本定例会にて当委員会に付託された、議案1件、請願1件について、去る3月21日に委員会を開催し、執行部から教育次長及び教育委員会関係課長の出席説明を求め、慎重に審査しました。

議案第47号「国東市体育施設条例の一部改正について」につきましては、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また請願第1号「義務教育費国庫負担制度堅持を求める請願」につきましては、採択すべきものと決定しました。

◆産業建設委員会◆

委員長 松本 剛弘

本定例会にて当委員会に付託された議案2件については、去る6月21日に委員会を開催し、関係部長・関係課長の出席説明を求め慎重に審査しました。各議案とも、採決にあたり討論はなく、全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定しました。

次に、閉会中の継続審査となっていた請願第13号と請願第14号の環太平洋パートナーシップ(TPP)に対する請願2件について審査しました。現在、国の農業改革の方向性も出されていない状況であり、農業政策に関する国の具体策等、今後の経過を見守る必要があるため、現段階で結論を出すことは困難であり、今後も継続して審査が必要であるとのことで、いずれも閉会中の継続審査としました。

◆予算特別委員会◆

委員長 唯有 幸明

本委員会で審査しました案件は、議案第43号「平成23年度国東市一般会計補正予算」です。

委員会は去る6月15日に開催し、執行部から、市長以下関係職員の出席を求め、予算書等により詳細説明を受けた後、歳入歳出について順次審査を行いました。

審査の結果ですが、採決にあたり討論を求めましたところ、討論もなく、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議会広報編集特別委員会

委員長 大谷 和義

5月25日から26日の2日間、岡山県美作市議会と大阪府庁の府政情報センターを研修視察しました。

美作市は、ケーブルテレビ事業の主な対応や技術・窓口対応、議会中継も含む番組制作等をそれぞれ民間業者に年間、計1億円で委託している状況です。

◆議会中継について

本市でも、一般質問時の生放送と録画放送は行っていますが、美作市では臨時議会以外の会期中の議場内の模様を全て生放送のみ行っており、編集による公平性をどう保つのかという議論になったため、ありのままを放送する代わりに放送当初より録画放送はしてない状況でした。市民からの録画による再放送の要望はなく、議員によっては一般質問をした部分の録画テープ

を持って支援者に配布するなどして活動に利用している人もいるとのことでした。

◆議会だより発刊中止について

美作市は、議会広報の発刊を時の議長の考え方で4年前に発刊を中止していました。一部議員からも「広報の必要性はない。」との意見があり、地元新聞でも事前・事後に議会の開催と内容、質問者の簡略した記事が掲載され、各議員が支持者向けに議会報告書を配布していることから、議会側も「興味がある市民は情報把握が可能。」との見解でした。

◆情報活用について

研修終了後、美作市議会側の過疎地域における地域間交流の取り組みについて、安岐町朝来地区の「100円居酒屋」の原本にした活動の報告を受けました。インターネットを活用し、同一規模の自治体をいろいろ検索したところ、国東市ホームページにたどり着いたようであり、掲載していた情報とケーブルテレビの映像、詳細資料を取り寄

せて活用させていただいたと感謝されていました。

◆情報公開の在り方について

大阪府庁の府政情報センターでは、センター内の多くの歴史的文書を始めとする貴重な書物や公文書・資料の保存・管理・情報公開を行う業務を視察しました。

府民からの要望は、窓口では、アンケート用紙、インターネットではホームページの「府民の声」というシステムを使い広聴し、要望内容が意を持っているのであれば対応すること、驚いたことに、高校生からの高校入試時の答案採点用紙の公開請求もあるとのこと、大阪府ではメジャーな請求のようでした。

また、府知事から府幹部職員あてのメールについても紙ベースにして公開していた状況などから「開かれた行政」に努めていると感じられました。

◆まとめ

2日間の研修でしたが、インターネットやケーブルテレビ、

さらには、情報公開請求を活用し日常生活に必要な情報が当たり前のように得られる今日、情報の公開次第で使途や受け止め方が変わると強く感じました。国東市のホームページでも「議会だより」を掲載しており、多くの人が容易に閲覧することが出来ることから、今後の議会広報の在り方を当委員会でも再認識し、これからの「議会だより」づくりにおおいに参考になったと考えております。



大阪府庁での研修の様子

議案等議決結果一覧

—平成23年第2回定例会—

【市長提出議案】

- 平成23年度一般会計補正予算（第1号）……………可決
- 国東市暴力団排除条例の制定について……………可決
- 国東市過疎地域自立促進基金条例の制定について……………可決
- 国東市過疎地域自立促進計画の変更について……………可決
- 国東市体育施設条例の一部改正について……………可決
- 国東市附属機関設置条例の一部改正について……………可決
- 国東市企業立地促進条例等の一部改正について……………可決
- 財産の無償譲渡にについて……………可決
- 平成23年度一般会計補正予算（第2号）……………可決

【諮問】

- 人権擁護委員の推薦について……………適任

【請願】

- 義務教育費国庫負担制度堅持を求める請願……………採択

【12月議会からの継続（請願）】

- 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉への参加反対を
求める請願……………継続
- TPPの参加に反対する請願……………継続

—平成23年第2回臨時会（5月）—

【市長提出議案】

- 専決処分の承認を求めることについて（11件）……………承認

【同意】

- 監査委員の選任について……………同意
- 教育委員会委員の任命について……………同意
- 副市長の選任について……………同意

議会報告会のお知らせ

「開かれた議会」 ～議会のしくみを説明します。～



**初めての試み！
「議会報告会」を
開催します。**

議会報告会は、議員22名が2班に分かれて各地域で「議会のしくみ」や「6月議会の審議内容」などを説明します。また、市民の皆さんからの質問にも答えながら意見交換を行います。報告会開催にあたっては、資料作成や会場準備、運営や進行などをすべて議員が行い、報告項目の説明や市民の皆さんからの質問、意見への対応も議員が行います。

国東市議会において初めての試みです。意義ある報告会となりますよう、議員一同、市民の皆様のご来場をお待ちしています。ぜひ、お近くの会場へお越しください。

報告会内容

- 国東市議会のしくみと仕事について
- 平成23年度国東市予算の状況について
- 6月定例会の審議内容について

など

※報告会終了後に質疑や意見交換を行います。

日時と会場

・8月17日（水）

国見生涯学習センターみんなかん

・8月19日（金）

武蔵保健福祉センター

・8月22日（月）

市役所安岐総合支所

・8月26日（金）

アストくにさきマルチホール

いずれも午後7時から開始します。

議会のいびき

7月8日	24日	21日	20日	15日	13日	10日	6月3日	25日	19日	13日	10日	6日	5月2日	25日	19日	4月18日	
広報編集特別委員会 全員協議会	議会運営委員会 総務委員会	文教厚生委員会	産業建設委員会	予算特別委員会	広報編集特別委員会	平成23年第2回定例会	議会運営委員会 (岡山県ほか)	広報編集特別委員会 研修視察	大分県議長会総会 (国東市)	調査特別委員会議会	市民病院改築工事 全員協議会 第2回臨時会	議会運営委員会 全員協議会	議会運営委員会 全員協議会	議会改革特別委員会	総務委員会	調査特別委員会議会	市民病院改築工事



全国市議会議長会から表彰されました

全国市議会議長会定期総会で、永年在職の功労に対して唯有幸明副議長、馬場将郎議員、丸小野宣康議員に表彰状が贈られ、6月24日、吉水國人議長から伝達表彰されました。

表紙写真の説明

学問の神として有名な菅原道真公は、天神様として全国1万2千社あまりの天満宮で祀られています。田深天満社では、地区の氏神として天保2年より崇められており、7月25日の夏季大祭では県指定有形文化財行事の「お練り行列」がありました。五穀豊穡などを祈願し江戸時代ごろに大名行列を真似て始まったとされこの行事は、陣笠や法被姿の子どもたちが地区内の立札場所で「ヤットコセー」「ヤマカセー」と声を掛けながら、毛槍や矛を振りかざし地区を練り歩きました。

私たちの議会を見に行こう！

次回定例会の開催は、**9月上旬**です。

傍聴を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。また、当日の受付も行っています。

問い合わせ先 ☎0978 (72) 5196 (直通)

編集後記

蝉時雨の訪れとともに高校野球の県予選が始まる。国東市民の待ち望んだ甲子園大会出場、いつか現実にと毎年応援している。

甲子園では、八月十五日の終戦記念日に試合中に両チームが黙祷する。広島、長崎の原爆投下で二十万人の命が奪われ、今日までの犠牲者は六十万人以上とも言われ、後を絶たない。

あれから、六十六年。福島原発事故が再び日本に核の脅威をさらした。平和利用と放射能汚染の表裏一体の原子力発電所。愛媛の伊方発電所、佐賀の玄海発電所も他人事ではない。議会としても計画中の上関原子力発電所の動向を注意深く見守りたい。

(伊牟田)

発行責任者	吉水 國人
編集委員長	大谷 和義
副委員長	堀田 一則
委員	吉田 眞津子
〃	一丸 政春
〃	木丸 憲治
〃	伊牟田 洋史
〃	明石 和久
〃	森石 正二
〃	秋國 良二